

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

エコ・ファーストの約束

■約束1: 製品を通じて低炭素社会の構築

(1) 高効率温水機器(潜熱回収型、ハイブリッド給湯・暖房システムなど)と創エネルギー機器(太陽熱利用システムなど)の開発と普及に積極的に取り組み、お客さまが使用時に排出するCO2を2020年までに300万トン削減貢献することを目指します。(2000年比、製品寿命を10年と想定)

製品使用によるCO2削減貢献量(単位: 万ton)

	2016年	2017年	2020年目標
CO2削減貢献量	204	227	300以上

(2) 環境マーケティングを強化し、「CO2の見える化」など製品ライフサイクルを見すえた適切で具体的な商品・サービスの環境情報をお客さまにわかりやすく提供していく取り組みを積極的に推進します。

■約束2: 事業活動を通じて低炭素社会の構築

(1) 国内事業所におけるCO2総排出量を、2020年までに12%以上削減し、2030年まで維持することを目指します。(2013年比)
※パリ協定の日本政府目標2013年比26%削減に相当。

(2) ノーリツグループとして全体最適化を考慮したエネルギー削減を統括的に推進するためにエネルギーマネジメント体制を強化します。

(3) 業務改善と設備導入の両輪で計画的にCO2排出量の削減に取り組みます。

事業活動によるCO2排出量

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2020年目標	2030年目標
CO2排出量 (単位: ton)	22,152	21,071	19,925	20,397	20,484	19,500	19,500
2013年比較	100.0	95.1	89.9	92.1	92.5	88.0	88.0

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

■ 約束3: 製品・事業活動を通じた資源循環型社会の構築

(1) 生産活動に伴う廃棄物発生量を、2020年までに17%(1,000トン)以上削減することを目指します。(2007年比)

生産活動に伴う廃棄物発生量(単位: ton)

	2007年	2017年	2020年目標
廃棄物発生量	5,795	4,859	4,795

(2) 使用済み製品のリサイクル量を、2020年までに1,125トンにすることを目指すとともに、リサイクル事業を通じて障がい者福祉における就労支援活動を促進していきます。

使用済み製品のリサイクル量(単位: ton)

	2017年	2020年目標
リサイクル量	1,076	1,125

■ 約束4: 製品・事業活動を通じた自然共生社会の構築

(1) 生物多様性・生態系の保護のために森林カーボンオフセットサービスを利用して、森林育成の促進、間伐材利用の促進を継続して実施していきます。(社会貢献活動)

(2) 森林の役割、生物多様性・生態系の保護の理解を深めるために、現場での里山体験を継続して実施していきます。

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

■約束5: 環境マインドの向上に積極的に取り組みます。

(1) 環境マインドの向上、上記エコ・ファーストの各約束を推進するためにeco検定取得者を2020年までに60%以上にすることを目指し、グループへも拡大していきます。

eco検定合格者

	～2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
合格者数(人)	10	138	448	774	1,145	1,359	1,513	1,617	1,698
取得率(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0

	2017年
合格者数(人)	1,981
取得率(%)	58.7

母数の考え方を2016年より統一。

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

事業活動を通じた環境配慮

【CO₂削減(エネルギー削減)】

■エネルギー使用量推移(単位:kL)

	2011年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
エネルギー使用量	12,900	13,493	13,004	12,254	12,385	12,533
エネルギー削減量	760	167	656	1,406	1,275	1,127

原油換算: 各種エネルギーを共通の単位を用いて比較するため、原油量に換算すること。

原油換算値(kL) = 使用量[○] × 各エネルギーの単位発熱量[GJ / ○] × 0.0258(原油換算係数[kL / GJ])

■エネルギー使用量比率

	2015年	2016年	2017年
電気	66%	66%	67%
都市ガス	24%	24%	23%
LNG	7%	7%	8%
灯油	1%	2%	1%
LPG	2%	1%	1%

	2011年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
エネルギーコスト	807	989	1,076	973	932	935

■エネルギー別コスト比率

	2015年	2016年	2017年
電気	68%	68%	73%
都市ガス	23%	23%	18%
LNG	6%	6%	7%
灯油	1%	2%	1%
LPG	2%	1%	1%

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

【エネルギー別の使用量及びCO2排出量】

■電力使用量とCO2排出量

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
電力使用量 (単位:千kWh)	35,380	33,383	31,920	32,210	33,069
CO2排出量 (単位:ton)	13,515	12,753	12,194	12,304	12,632

■都市ガス使用量とCO2排出量(連結)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
都市ガス使用量 (単位:千m ³)	2,589	2,581	2,545	2,545	2,500
CO2排出量 (単位:ton)	5,810	5,793	5,712	5,712	5,497

■LNG使用量とCO2排出量(連結)(単位:ton)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
LNG使用量	0	285	598	651	727
CO2排出量(連結)	0	771	1,616	1,758	1,962

■LPG使用量とCO2排出量(連結)(単位:ton)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
LPG使用量	761	455	115	99	100
CO2排出量(連結)	2,282	1,365	344	298	299

■灯油使用量とCO2排出量(連結)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
灯油使用料 (単位:kL)	412	445	243	235	163
CO2排出量(連結) (単位:ton)	1,025	1,109	605	585	405

■水使用量とCO2排出量(連結)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
水使用量 (単位:千m ³)	337	277	315	293	267
CO2排出量(連結) (単位:ton)	219	180	205	191	174

	単位	排出係数
電気	kWh	0.382
都市ガス	m ³	2.244
LNG	kg	2.700
LPG	kg	3.000
灯油	リットル	2.490
水道	m ³	0.650

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

■輸送量・CO2排出量(単位:千トンキロ)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
輸送量	68,770	68,780	70,767	63,839	69,794	67,525
CO2排出量	9,823	9,782	10,087	9,041	9,566	9,192

■国内生産事業所におけるCO2総排出量

	2002年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2020年目標
CO2量(単位:ton)	23,605	22,152	21,071	19,925	20,397	20,484	19,500
2002年比較 (単位:%)	100.0	93.8	89.3	84.4	86.4	86.8	83.0

【廃棄物削減】

■廃棄物排出量(単位:ton)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
総排出量	1,754	1,875	1,367	1,315	1,024	1,159

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

【化学物質管理】

■ PRTR対象物質

※単位は「kg」とし、年間100kg以上の取扱いがある対象物質とする。

エチルベンゼン	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	1,600	2,070	1,622	2,110	2,523
排出量	1,600	1,900	1,469	1,976	1,989
(大気)	1,600	1,900	1,469	1,976	1,989
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	0	0	0	0	0

キシレン	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	4,400	6,534	4,003	3,486	5,690
排出量	1,200	1,553	1,030	1,565	1,612
(大気)	1,200	1,553	1,030	1,565	1,612
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	700	640	594	704	611

銀およびその水溶性化合物	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量		230	183	192	173
排出量		0	0	0	0
(大気)		0	0	0	0
(水域)		0	0	0	0
(土壌)		0	0	0	0
移動量		0	0	0	0

(参考: 2014年追加)

クロム	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	300	1,750	1,314	548	5,295
排出量	0	0	0	0	0
(大気)	0	0	0	0	0
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	0	0	0	0	0

(参考: 2007年4月より使用開始)

1,2,4-トリメチルベンゼン	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量		4,860	2,615	13,449	2,202
排出量		24	13	12	77
(大気)		24	13	12	77
(水域)		0	0	0	0
(土壌)		0	0	0	0
移動量		0	0	0	0

(参考: 2014年追加)

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

トルエン	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	8,700	8,390	6,394	5,878	6,937
排出量	8,300	8,080	6,109	5,548	6,652
(大気)	8,300	8,080	6,109	5,548	6,652
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	400	310	285	330	285

鉛	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	200	200	5	4	0
排出量	0	0	0	0	0
(大気)	0	0	0	0	0
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	0	0	0	0	0

ニッケル	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	1,000	5,390	4,026	2,191	23,804
排出量	0	0	0	0	0
(大気)	0	0	0	0	0
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	0	0	0	0	0

(参考: 2007年4月より使用開始)

1-ブロモプロパン	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	12,400	12,690	10,800	10,800	11,280
排出量	12,300	12,590	10,705	10,690	11,185
(大気)	12,300	12,590	10,705	10,690	11,185
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	100	100	95	110	95

(参考: 2010年4月より法改正により、第1種指定物質となったため)

硼酸トリメチル(ホウ素化合物)	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量			9	10	156
排出量			0	0	0
(大気)			0	0	0
(水域)			0	0	0
(土壌)			0	0	0
移動量			0	0	0

(参考: 2015年より追加)

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲:ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

メタクリル酸メチル	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量	116,800	120,490	40,375	38,587	34,746
排出量	100	70	0	0	0
(大気)	100	70	0	0	0
(水域)	0	0	0	0	0
(土壌)	0	0	0	0	0
移動量	7,900	8,540	7,285	6,961	6,268

メチルナフタレン	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量		1,120	1,192	1,228	788
排出量		6	6	6	39
(大気)		6	6	6	39
(水域)		0	0	0	0
(土壌)		0	0	0	0
移動量		0	0	0	0

(参考:2014年追加)

モリブデン及びその化合物	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
取扱量					536
排出量					0
(大気)					0
(水域)					0
(土壌)					0
移動量					0

(参考:2017年追加)

PRTR法対象物質を100kg以上取り扱っている連結対象会社

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)

株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、

株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社

■ 大気汚染(NOx、SOx)

ノーリツグループでは、エネルギー使用量を低減することにより、NOx・SOxを削減し大気汚染防止に取り組んでいます。

ノーリツグループ生産事業所におけるNOx・SOx排出量

[連結]						
	NO2排排出量 (kg-NOx)					
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	前年比
合計排出量	8,028	8,472	8,514	8,693	8,750	101%
	SO2排排出量 (kg-SOx)					
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	前年比
合計排出量	418	385	341	343	347	101%

「エコ・ファーストの約束」数値データと、環境パフォーマンス報告の指標を集約しています。
環境データの集計期間は毎年(1月～12月)です。

各データの集計範囲: ノーリツグループ国内生産拠点

株式会社ノーリツ(明石本社工場・明石事業所・加古川事業所)、株式会社アールビー、関東産業株式会社、株式会社ハーマン、株式会社多田スミス、大成工業株式会社、信和工業株式会社、株式会社エスコアハーツ、第一電子株式会社

■ 水質汚濁(BOD)

ノーリツグループでは、基本的にBODの影響する生産活動はおこなっておりませんが、排水する下水道の水質調査を定期的を実施し、成分分析をおこなっています。調査対象の全事業所で、基準値を下回っています。

ノーリツグループ生産事業所におけるBOD発生量

ノーリツ生産事業所	BOD	2015年	2016年	2017年
	基準値mg/l	測定値mg/l		
NAM事業所	600	240	300	460
土山事業所(エスコアハーツ)	600	71	320	6
明石事業所	600	180	180	160
加古川事業所	100	6	8	5

グループ会社生産事業所	BOD	2015年	2016年	2017年
	基準値mg/l	測定値mg/l		
アールビー本社	20	10	10	2.3
アールビーつくば事業所	300	72	25	120
(株)ハーマン	600	72	72	72
(株)多田スミス	100	79	79	31
関東産業(株)	600	1	1	2
大成工業(株)本社工場	300	19	19	19
大成工業(株)稲美工場	600	7	7	7
大成工業(株)第三工場	300	11	11	11

BOD排出量(kg)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
連結	27,474	37,485	47,009	49,094	57,875

BODとは Biochemical Oxygen Demandの略称で生物化学的酸素要求量のこと。

排水処理の性能を評価したり、河川の水質を評価する時に使用され、有機物による水の汚れを示す代表的な指標です。水の中の有機物(汚れの原因)を微生物が分解するのに使われた酸素の量で、数値が高いほど水質汚濁がすすんでいることとなります。BOD指数が高いと水中に溶けている酸素が少なくなり、BODが10mg/L以上になると悪臭の発生などが起こりやすくなります。